



自由民主党議員 市川 みのもる

中野駅周辺まちづくり

商店街の自主的な取り組みを促しては。

新たな手法の研究・調査が必要と認識している。

駅地区整備は先行する警大跡地整備に追いつくか

警大跡地整備の進行も考慮し、具体的な駅地区整備計画を作成予定である。

テスト的に駅北口商店街組織の会費徴収権を区が担保し、防犯活動などへの

整備のために、区はJRとの交渉に毅然と臨めるのか

区民が利用しやすい駅

区民が利用しやすい駅

にするため、行政として最大限の努力をしたい。

駅西側に設置予定の南北デッキと桃丘小跡地の関係は。

中野三丁目地区では南北道路接続用の公共用地の確保が必要であり、跡地の活用計画と整合性を図り、検討する。

中野二丁目地区の活性化に向けた導入機能・基盤

整備について区の考えは。区は当該地区の再開発にあたり、商業・業務の導入を期待しており、準備組合での取り組みも支援していきたい。

駅周辺まちづくりにおける政権交代の影響は。

国の政策は大きく変化しているが、区の目指すまちづくりは必要で、その大きな意味は変わらない。

養が最適と考えている。

入札制度の改善

区内事業者優遇措置をすべての入札に適用するなど、一歩踏み込んだ緊急経済対策が必要ではないか。

十分配慮しており、一般競争入札本来の趣旨からも、優遇は適切ではない。

対策の効果最大化のためには、最低制限価格の検討をする必要があるのでは。

新たなセーフティネットの施策として評価する。

国として家賃補助に踏み出さざるを得ない状況と言え。救済措置も安定雇用なしには長続きしない。

合同就職面接会の回数を増やすなど、就労支援の体制強化が必要ではないか。

ミニ就職面接会の開催などを検討していきたい。

落ち葉・剪定枝葉の回収

家庭系の落ち葉・剪定

昨年11月の都の改定も参考に、検討したい。

学校での環境衛生検査

照度検査の指摘件数と改善件数が異なる理由は。

設備の増設など、すぐに改善できない実態がある。

道路整備と土地の有効活用

環状七号線などの特定道路と連続する道路の幅を6mに整備すれば、その道路に面する土地が有効利用できる」と聞いたが。

高さや容積率の制限緩和などが適用された建物が建設できることになる。

その他の質疑項目

ペット等との共生条例の制定について

算についても検討していく。

その他の質疑項目

平成20年度予算執行上の問題について

区内の薬局との協力体制について

◆その他

自由民主党議員 山崎 芳夫



扶助費の伸び率

義務的経費である扶助費は毎年伸び続け、昨年度は総額200億円を突破した。23区平均と比較しても高い伸びを見せているが、その理由は何か。

雇用悪化による生活保護受給世帯の増や、子ども医療助成制度の平年度化などが理由と考えている。

区の単独事業や上乗せ事業である、障害者福祉手当や難病患者福祉手当について、どのような見直しや改善を行っているのか。

年齢による資格要件や所得の制限を設けている。

ほどの程度であったのか。

約11億円である。

平成20年度の現年分の収納率は81.3%であったが、仮にこの収納率を1%上げた場合、繰出金は、どの程度減ることになるか。

決算ベースで約9500万円と想定される。

毎年、繰出金により成り立っている国保事業であるが、投入する以前に少なくなると考える。財政当局の見解はどうか。

限られた財源を有効に活用する観点から、財政規模に見合った基準や制度設計は必要と考える。

国保特別会計への繰出金

一般会計から国保特別会計への繰出金は43億円であったが、このうち保険料未収入の補てんに充てた額は

して設置すべきではないか。

アポロ園と同じ機能を想定し相談機能充実を図る。

子育て支援施策

保育園待機児解消には、家庭福祉員拡充など、一切の手立てを講ずるべきではないか。

家庭福祉員不足の解消は必要と感じている。

要件緩和や休業時サポート、家賃助成の考えは。

都の研修受講者の区立園での実習や、連携保育、助成の検討を行っている。

赤ちゃんほっとスペースのサンプラザへの設置を検討してみてもどうか。

設置の具体化に向けて

女性特有のがん無料クーポン券を配布しているが、受診促進を図る方策は。

区独自の無料検診実施期間の延長とPRに努める。



公明党議員 妙子

特別支援教育の推進

小中全校に配置している特別支援教育コーディネーターは、兼務ではなく専任として配置すべきでは。

加配は難しいが、負担軽減を、都に要望したい。

通常学級に通う特別な支援を必要とする子を持つ

紙の集団回収は成り立たない。事業者支援の対策を講じるべきではないか。

回収団体・事業者・区との間で、方策について話

その他の質疑項目

哲学堂公園と野方配水塔

回収団体・事業者・区との間で、方策について話



日本共産党議員 せきと 進

警大跡地大規模再開発

グラウンドデザインの策定範囲が拡張される一方、

警大跡地の事業費総額さえも未だ明かされない。経済危機により空室率が上昇し、

新宿では、新築ビルが半分しか埋まっていない。区は、警大跡地の業務・商業施設

警大跡地の業務・商業施設

の入住率をどう見込んでいるのか。

企業の事業性にかかることであり、答えられない。

雇用施策

厚労省は、離職者の住宅支援として、住宅手当緊急特別措置事業を創設した。

本事業に対する区の評価は。

新たなセーフティネットの施策として評価する。

国として家賃補助に踏み出さざるを得ない状況と言え。救済措置も安定雇用なしには長続きしない。

合同就職面接会の回数を増やすなど、就労支援の体制強化が必要ではないか。

ミニ就職面接会の開催などを検討していきたい。

落ち葉・剪定枝葉の回収

家庭系の落ち葉・剪定

昨年11月の都の改定も参考に、検討したい。

学校での環境衛生検査

照度検査の指摘件数と改善件数が異なる理由は。

設備の増設など、すぐに改善できない実態がある。

区内の薬局との協力体制について

◆その他